



2015年度（2016年2月期） （2015.3.1～2016.2.29）決算説明会



イオンモール株式会社
(東証1部:8905)

2016年4月13日



1. 2015年度決算概要

- 連結業績概要 P 3
- 業績推移 P 4
- 2015年度 国内新規モール ～コンセプトモールの出店～ P 5
- 既存モール リニューアル P 6
- モール月次データ（既存63モール前期比） P 7
- モール専門店売上 業種別前期比（既存63モール前期比） P 8
- 中国事業 既存モール前期比 P 9
- 2015年度 中国事業 新規モール P 10～12
- 2015年度 アセアン事業 新規モール P 13
- 損益増減明細 P 14
- 損益計算書（要約） P 15
- 貸借対照表（要約） P 16
- キャッシュ・フロー計算書（要約） P 17

2. 今後の取り組み

- 2016年度の位置づけ P 19
- 2016年度施策 P 20
- 国内事業 2016年度 国内新規モール P 21
- 国内事業 新規モール一覧 P 22
- 国内事業 モール収益力強化 P 23～24
- 国内事業 ファッションビル事業の展開 P 25
- 海外事業 P 26
- 中国事業 P 27～29
- アセアン事業 P 30～32
- 業績計画（連結） P 33～34

1. 2015年度決算概要

連結業績概要

経常利益、当期純利益で公表計画を達成

営業収益・営業利益・経常利益・当期純利益は過去最高を達成

(単位：百万円、%)

	2015年度 実績	2015年度 年間計画	計画比	2014年度 実績	前期比
営業収益	229,754	238,000	96.5	203,902	112.7
営業原価	163,436	-	-	141,464	115.5
営業総利益	66,317	-	-	62,437	106.2
販管費	22,446	-	-	20,565	109.2
営業利益	43,870	44,500	98.6	41,872	104.8
経常利益	42,412	42,000	101.0	41,160	103.0
当期純利益	24,639	24,600	100.2	24,513	100.5
1株当たり当期純利益(円)	108.43	107.96	100.4	107.58	-

国内モール営業概要

- 既存63モール
 専門店売上高 前期比98.3%
 営業収益前期比 ▲ 1,044百万円(前期比 99.4%)
 営業総利益前期比 + 1,196百万円(前期比102.1%)
- 新規11モール
 <2014年度；7モール、2015年度；4モール>
 営業収益前期比 + 17,654百万円(前期比221.0%)
 営業総利益前期比 + 2,131百万円(前期比132.6%)
 ※管理・運営業務受託のイオンモールとなみを除く。

- 実質空床率（出店が確定している区画を控除した空床面積比率）
0.38%（2015年度累計）

海外モール営業概要

- 海外モール
 営業収益前期比 + 8,495百万円(前期比217.1%)
 営業総利益前期比 + 6百万円(実績▲1,847百万円)

- 海外既存5モール（1-12月）
 中国(4モール) 専門店売上高 前期比124.9%
 ※8-12月度は営業を休止していたイオンモール天津TEDAを除いた3モールで算出
 ベトナム(1モール) 専門店売上高 前期比112.6%

	オープン数 ※1	モール数 (2016年2月29日現在)
国内	5	144 ※2
中国	6	12
カンボジア	0	1
ベトナム	1	3
インドネシア	1	1
計	13	161

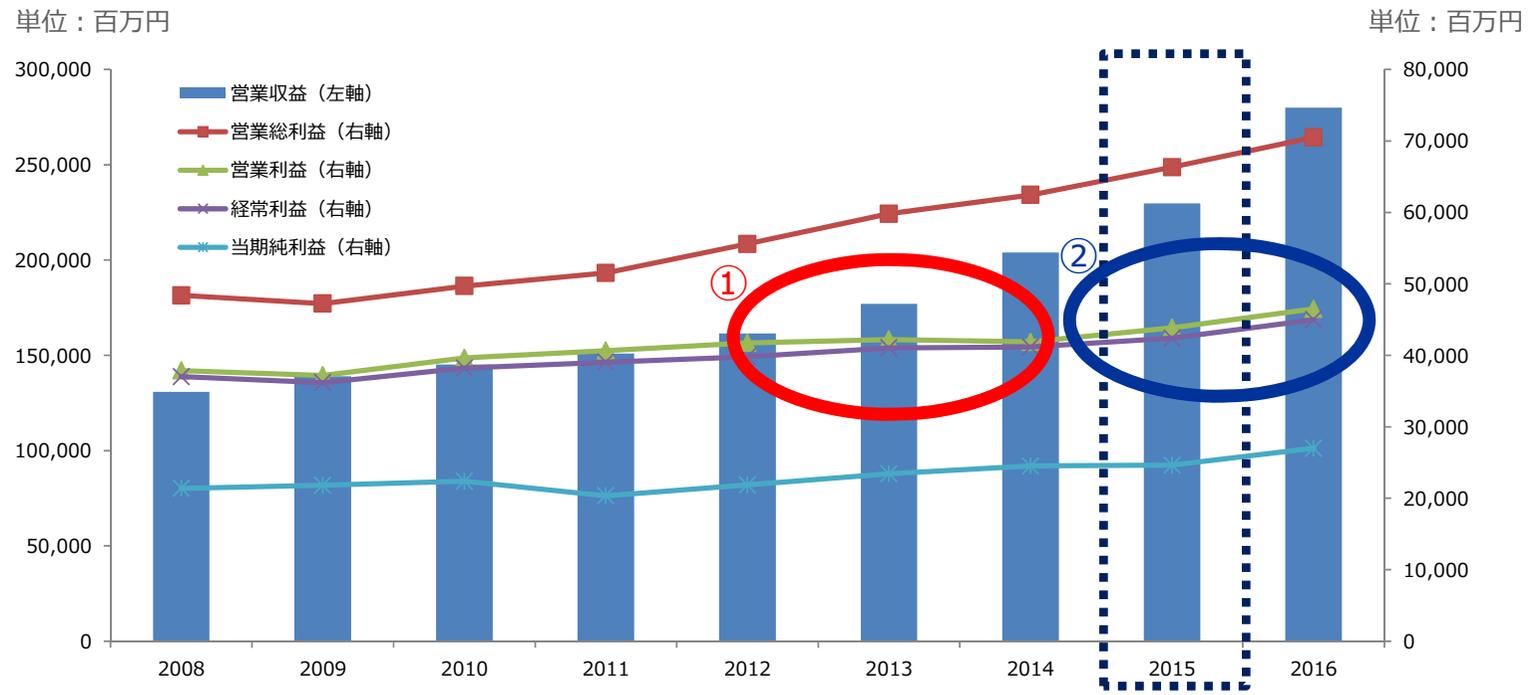
※1 2015年3月1日から2016年2月29日までにオープンしたモール数
 ※2 イオンリテール(株)の大型商業施設70の管理・運営業務を受託
 (2015年7月14日オープンのイオンモールとなみの管理・運営業務を追加受託)

(単位：百万円)

総資産	974,970
純資産	339,849
自己資本比率 (%)	34.2
D/Eレシオ (倍)	1.0

業績推移

- ▶ 営業収益、営業総利益は堅調に増加
- ▶ 2011年度より新たな成長に向けた中期3ヶ年計画をスタート。国内事業拠点拡大、新たな成長マーケット（中国、アセアン）における事業展開のスタート、イオングループにおけるディベロッパー事業の機能統合を推進。成長施策に伴う先行コストにより営業利益伸び率が鈍化(①)
- ▶ 2015年度において、国内外の体制強化が一巡し、利益成長に向けギアチェンジ(②)



2015年度 国内新規モール ～コンセプトモールの出店～

イオンモール旭川駅前（北海道旭川市）

オープン日：2015年3月27日
敷地面積：28,300㎡
総賃貸面積：29,000㎡
駐車台数：900台
専門店数：130店舗



JR旭川駅直結で、インバウンド・サービスを含め、道北エリアの観光振興に対応した機能を拡充

イオンモール四條畷（大阪府四條畷市・寝屋川市）

オープン日：2015年10月23日
敷地面積：159,000㎡
総賃貸面積：75,000㎡
駐車台数：4,100台
専門店数：200店舗



大阪市近郊の四條畷市と寝屋川市の市境に位置する都市型ショッピングモール。商圏人口100万人を抱える都市型マーケットに対応し、新業態11店舗、近畿初出店16店舗、大阪府初出店12店舗を含む約200店舗が出店。

地域最大級の飲食ゾーン

コンセプトゾーンの展開



「食」に関する専門店51店舗による地域最大級の飲食ゾーンを展開。2F・3Fを統一したデザインテーマで連動し、一体感を醸成。



1F中央部に40代以上のオトナの女性をターゲットとしたコンセプトゾーンを展開。ファッション、コスメ、インナー、インテリア雑貨、カフェレストランなどを集積。

イオンモール沖縄ライカム（沖縄県中頭郡北中城村）

オープン日：2015年4月25日
敷地面積：175,000㎡
総賃貸面積：78,000㎡
駐車台数：4,000台
専門店数：230店舗



沖縄を体感できる文化・エンターテインメント機能や、県最大の「食」の集積に加え、訪日外国人旅行客向けサービスも大幅に拡充した本格的リゾートモール

イオンモール常滑（愛知県常滑市）

オープン日：2015年12月4日
敷地面積：202,000㎡
総賃貸面積：83,000㎡（外部棟含む）
駐車台数：4,200台
専門店数：180店舗（きゅりお除く）



20万㎡超の広大な敷地を活かし、スケートリンクやアスレチック等のアクティビティ施設を外部ゾーンで展開。また、中部国際空港（セントレア）に近い立地を活かしたインバウンド対応を強化。

屋外型エンターテインメントパーク
ワンダーフォレスト きゅりお

インバウンド対応

約26,000㎡の敷地に、12のコンテンツを配置した一大レジャーゾーン。

訪日外国人旅行客向けのサービスを拡充。



イオンモールとなみ（富山県砺波市）

オープン日：2015年7月14日
敷地面積：65,000㎡
総賃貸面積：33,000㎡
駐車台数：1,750台
専門店数：100店舗



3世代ファミリーのデイリーニーズに対応したコミュニティ型モール

既存モール リニューアル

モール名称	所在地	リニューアル日	テナント数	新規テナント ① ※1	移転・改装 ②	リニューアル テナント数 (①+②)
イオンモール高岡	富山県高岡市	3月6日	130	17(10)	32	49
イオンモール伊丹	兵庫県伊丹市	3月20日	150	14(6)	47	61
イオンモール草津	滋賀県草津市	3月20日	190	43(26)	88	131
イオンモール都城駅前	宮崎県都城市	4月17日	100	10(2)	31	41
イオンモール広島府中	広島県安芸郡府中町	7月10日	200	19(13)	3	22
イオンモール広島祇園	広島県広島市	9月18日	130	37(14)	50	87
mozoワンダーシティ	愛知県名古屋市	9月18日	230	80(30)	83	163
イオンモール盛岡	岩手県盛岡市	9月19日	120	18(14)	28	46
イオンモール千葉ニュータウン	千葉県印西市	10月9日	180	26(5)	43	69
イオンレイクタウン ※2	埼玉県越谷市	4月24日 11月20日	710	193(96) 77(31)	159 80	352 157
イオンモール橿原	奈良県橿原市	11月27日	230	40(34)	76	116
イオンモール筑紫野 ※3	福岡県筑紫野市	12月8日	210	77(18)	105	182

※1 () 内は新規専門店のうち都道府県初出店のテナント数

※2 イオンレイクタウンは、当社が管理・運営するkaze及び当社がイオンリテール(株)よりPM受託にて管理運営しているmori・アウトレットを含めた全体数値。

※3 イオンモール筑紫野は増床リニューアル。

イオンレイクタウン 2015年11月20日 第2期リニューアルオープン

- ▶ 4月に実施した第1期リニューアルとあわせて計509店舗を刷新
- ▶ レイクサイドブリッジの新設

		新店	移転・改装	合計
kaze (全230店舗)	第1期	96	59	155
	第2期	28	14	42
	合計	124	73	197
mori (全340店舗)	第1期	85	98	183
	第2期	27	50	77
	合計	112	148	260
アウトレット (全140店舗)	第1期	12	2	14
	第2期	22	16	38
	合計	34	18	52
合計 (全710店舗)	第1期	193	159	352
	第2期	77	80	157
	合計	270	239	509



レイクタウン全体の70%以上のテナントをリニューアル。第2期リニューアルにおいて「kaze」と「アウトレット」をつなぐブリッジを新設し、3館がつながり全体の回遊性を向上。ハード・ソフトの両面において大規模な活性化を実施。

イオンモール筑紫野 2015年12月8日 増床リニューアルオープン



オープン日：2015年12月8日
敷地面積： 98,000㎡
総賃貸面積： 80,000㎡ (+11,000㎡)
駐車台数： 3,800台 (+200台)
専門店数： 210店舗 (+30店舗)

- ▶ 商圈変化に対応した新たなゾーニングプランを策定し、新規テナントの導入に加え、既存テナントの移転・改装等によりモール全体(約90%)を刷新。
- ▶ 3Fフードコートは、一部増床棟部分までゾーンを拡大。面積が約1.5倍、席数も約100席増とし、九州最大級に全面リニューアル。



2015年度（2016年2月期）（2015.3.1～2016.2.29）レビュー

モール月次データ（既存63モール前期比）

月度	3月度	4月度	5月度	1Q	6月度	7月度	8月度	2Q	上半期	9月度	10月度	11月度	3Q	12月度	1月度	2月度	4Q	下半期	累計
専門店売上 ※	84.3%	101.1%	103.0%	95.1%	93.1%	100.0%	99.9%	97.8%	96.4%	101.0%	102.4%	96.2%	99.7%	100.6%	101.5%	99.4%	100.6%	100.2%	98.3%
レジ客昨対 ※	88.9%	97.5%	99.8%	95.1%	91.6%	98.5%	98.0%	96.2%	95.7%	99.6%	100.2%	95.0%	98.1%	99.1%	100.9%	98.2%	99.5%	98.9%	97.2%
客単価昨対 ※	94.8%	103.8%	103.2%	100.0%	101.7%	101.6%	101.9%	101.6%	100.8%	101.4%	102.2%	101.2%	101.5%	101.6%	100.6%	101.2%	101.2%	101.3%	101.1%
土日祝数	▲2	±0	+2	±0	▲1	±0	±0	▲1	▲1	+1	+1	▲1	+1	±0	±0	±0	±0	+1	±0
(曜日調整後) 専門店売上 ※	88.8%	101.1%	98.1%	95.3%	96.4%	100.0%	99.9%	98.8%	97.0%	98.6%	100.0%	98.6%	99.0%	100.6%	101.5%	96.8%	100.0%	99.5%	98.3%
駐車台数	94.4%	101.4%	101.9%	99.1%	97.5%	100.3%	100.6%	99.5%	99.3%	101.1%	100.5%	97.9%	99.8%	101.3%	102.2%	101.4%	101.6%	100.7%	100.0%
来店客数	91.7%	99.4%	102.5%	97.7%	94.3%	99.7%	98.0%	97.4%	97.5%	100.8%	97.4%	96.4%	98.2%	100.9%	101.9%	99.2%	100.7%	99.5%	98.5%

※ GMS等、アンカーテナントの数値は含んでおりません。

【ご参考】 2014年度 モール月次データ（既存58モール前期比）

月度	3月度	4月度	5月度	1Q	6月度	7月度	8月度	2Q	上半期	9月度	10月度	11月度	3Q	12月度	1月度	2月度	4Q	下半期	累計
専門店売上 ※	112.8%	95.8%	100.0%	103.3%	95.4%	95.2%	99.0%	96.4%	100.0%	96.3%	94.5%	100.8%	97.3%	94.9%	94.4%	99.6%	95.8%	96.5%	98.2%
レジ客昨対 ※	104.0%	97.7%	102.2%	101.4%	96.0%	94.0%	98.1%	96.1%	98.7%	94.1%	94.9%	100.5%	96.5%	95.2%	93.9%	99.5%	95.9%	96.2%	97.4%
客単価昨対 ※	108.5%	98.1%	97.9%	101.9%	99.4%	101.3%	100.9%	100.5%	101.3%	102.3%	99.5%	100.3%	100.8%	99.6%	100.6%	100.1%	100.1%	100.4%	100.8%
土日祝数	±0	±0	+1	+1	▲1	±0	+1	±0	+1	▲1	±0	+2	+1	▲1	±0	±0	▲1	±0	+1
(曜日調整後) 専門店売上 ※	112.8%	95.8%	98.6%	102.8%	97.0%	95.2%	97.0%	96.5%	99.6%	99.4%	94.5%	96.0%	96.6%	97.3%	94.4%	99.6%	96.8%	96.7%	98.1%
駐車台数	102.0%	97.6%	100.3%	100.1%	97.0%	95.7%	99.6%	97.5%	98.7%	95.9%	96.4%	99.8%	97.5%	96.4%	96.4%	102.5%	98.1%	97.8%	98.3%
来店客数	103.0%	97.2%	100.6%	100.3%	96.1%	95.8%	100.0%	97.4%	98.8%	95.1%	95.4%	101.1%	97.2%	95.0%	95.3%	102.0%	97.0%	97.1%	98.0%

※ GMS等、アンカーテナントの数値は含んでおりません。

モール専門店売上 業種別前期比（既存63モール前期比）

	上期	3 Q	4 Q
専門店合計	96.4%	99.7%	100.6%
大型専門店小計	93.6%	97.7%	103.1%
衣料品	94.9%	98.2%	97.5%
服装品	95.9%	98.5%	100.6%
雑貨	97.0%	102.0%	104.1%
飲食	97.8%	101.4%	103.7%
アミューズメント	98.4%	105.7%	101.3%
サービス	99.0%	98.9%	99.5%
中小専門店小計	96.8%	99.9%	100.3%

増加幅 +1.0%以上

減少幅 ▲1.0%以上

増減幅 ▲1.0%～+1.0%

中国事業 既存モール前期比

<中国小売売上高及び既存モール前期比>

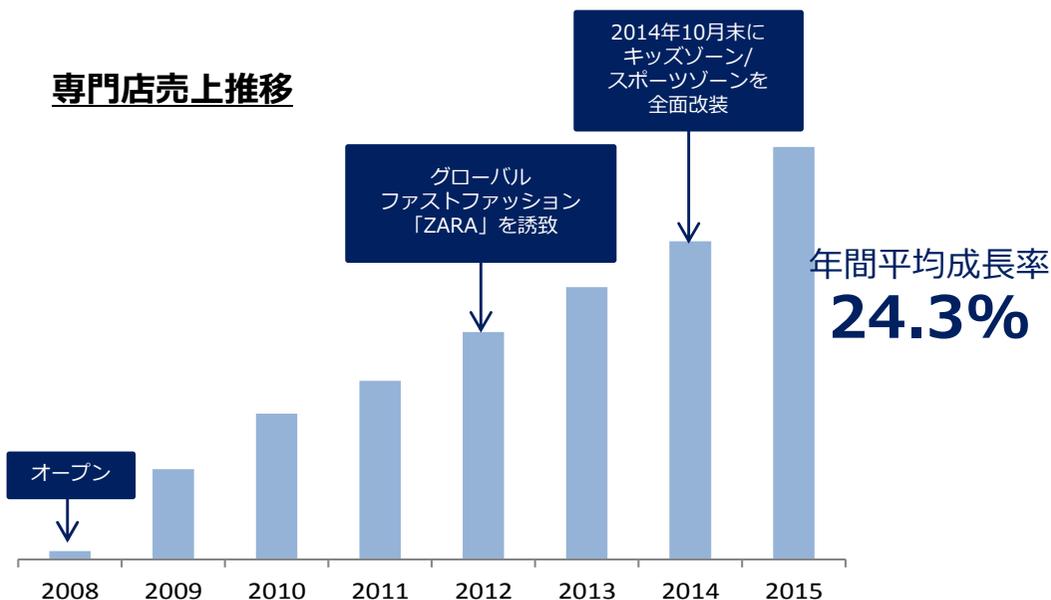
	2014年 1月-12月 (累計)	2015年 1月-12月 (累計)
中国小売売上高 ※1	112.0%	110.7%
イオンモール専門店売上 ※2	117.9%	124.9%
イオンモール来店客数 ※2	121.4%	110.8%

- ※1 出所：中国国家统计局。
- ※2 2014年1月～12月は3モール、2015年1月～12月は4モール（但し、2015年8月～12月は営業を休止していたイオンモール天津TEDAを除く）
- ※3 中国現地法人の決算期末は12月末。

イオンモール北京国際商城での取り組み

継続的なリニューアルと、モール責任者を含めた現地スタッフによる管理運営により、2008年のオープン以来、専門店売上は年間平均24.3%の成長率で推移。

専門店売上推移



2015年度の取り組み

- 継続的なテナントリプレイスと既存テナントの賃料改定
- 大型区画テナントの適正面積への縮小による新規テナント導入

- 専門店売上：前期比130%（2015年1-12月累計）
- 客数：前期比110%以上（2015年1-12月累計）
- 営業収益：前期比120%以上（2015年1-12月累計）
- 専門店数：114店舗（2014年12月末） → 121店舗（2015年12月末）

※オープン年度は日本の会計年度で記載。中国現地法人の決算期は12月末。

イオンモール蘇州園区湖東（江蘇省蘇州市）

オープン日：2015年5月29日
敷地面積：99,300㎡
総賃貸面積：75,000㎡
駐車台数：3,000台
専門店数：220店舗



モールコンセプト

“夢・発見・感動”を感じる空間

ハード面では都会的でモダンな先進的デザインを採用。エントランスに高さ35mの球体ドームを配置し、光(LED)と音による演出と連動したイベントを開催するほか、フロア毎にテーマ別の食のゾーンを展開。



イオンモール北京豊台（北京市豊台区）

オープン日：2015年9月19日
敷地面積：63,800㎡
総賃貸面積：58,000㎡
駐車台数：2,000台
専門店数：180店舗



モールコンセプト

“自分らしい「こだわり」が発見できるPARK（公園）”
“PARK”とは、個人や家族がそれぞれの趣味、運動、自然など時間を楽しむ場所
そして、それぞれのコミュニティが形成される場所

南4環路から南へ約1km、大手企業本社が集積する豊台区に立地。豊台区初出店80店舗を含む180店舗で構成。都市型ライフスタイルの提案をテーマとしたコンセプトゾーンを各フロアで展開。



イオンモール杭州良渚新城（浙江省杭州市）

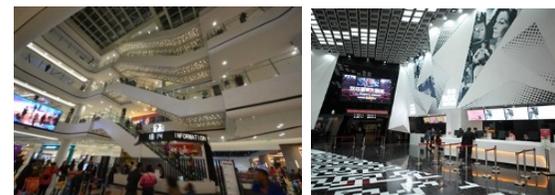
オープン日：2015年11月27日
敷地面積：98,000㎡
総賃貸面積：66,000㎡
駐車台数：2,500台
専門店数：180店舗



モールコンセプト

“ドキドキ・わくわく”を体感できるモール

都市拡大計画が進む良渚新城地区に立地。杭州市初出店46店舗を含む180店舗で構成し、杭州市最大規模のキッズゾーンやシネマコンプレックス、飲食ゾーンを展開。



※オープン年度は日本の会計年度で記載。中国現地法人の決算期は12月末。

イオンモール武漢経開（武漢経済技術開発区）

オープン日：2015年12月10日
 敷地面積： 130,000㎡ 総賃貸面積： 105,000㎡
 駐車台数： 4,000台 専門店数： 300店舗

施設の特徴

- ▶ 副都心エリアとして都市開発が進む「経済技術開発区」に位置し、主要幹線道路に面しており広域からのアクセスが良好な立地。
- ▶ イオングループの中国・アセアンにおける最大規模で、今後の郊外立地のプロトタイプとなるモール。

モールコンセプト

“五感+心で感じる楽しさ”

～ 新しい街の「もの」「こと」「とき」の拠点を創る ～

キッズ・飲食・エンターテインメント等、各フロアでコンセプトゾーンを展開。

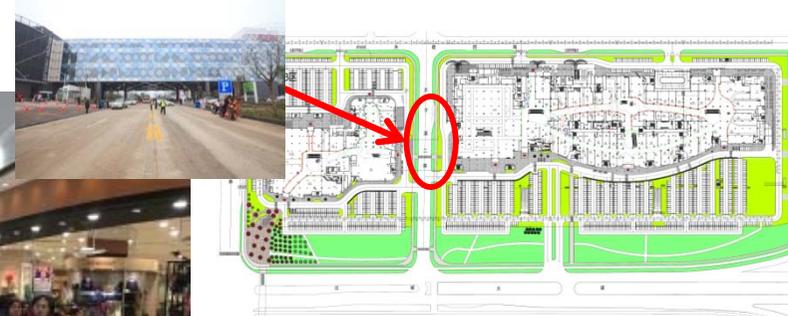


飲食は17,000㎡,60店舗を集積



武漢市No.1の規模でアミューズメント施設を展開

連結ブリッジのモールゾーン↓



公道を挟むA街区とB街区の2つの敷地の建物の2階・3階をブリッジで連結。ブリッジ部分にも専門店を配置し、モール全長は約525メートル。

※オープン年度は日本の会計年度で記載。中国現地法人の決算期は12月末。

イオンモール広州番禺広場（広東省広州市）

オープン日：2015年12月31日
敷地面積：51,400㎡
総賃貸面積：64,500㎡
駐車台数：1,700台
専門店数：170店舗



施設の特徴

- 市中心部から南へ約20kmの番禺区（人口約170万人）に立地する都市型モール。
- 地下鉄3号線「番禺広場駅」前に位置し、当該エリアは同駅を中心に新たな市街地形成が進展。

モールコンセプト

“Urban Style Mall”

～ 都会的で洗練されたモールライフを提案 ～



6層の吹き抜け空間など、洗練され、かつ迫力ある建物デザインを採用



飲食機能を充実。57店舗、全体の約35%以上の専門店で構成。



サンクンガーデン



周囲の路面を一段下げて造った広場。平面駐車場から地下飲食ゾーンへのダイレクトアクセスが可能となる他、イベントスペースとしても活用。

イオンモール蘇州新区（江蘇省蘇州市）

オープン日：2016年1月15日
敷地面積：139,000㎡
総賃貸面積：74,000㎡
駐車台数：3,200台
専門店数：280店舗



施設の特徴

- 高速鉄道蘇州新区駅、地下鉄三号线（2019年開通予定）の始発駅、中環快速路（環状高速道路）の出入りに隣接し、アクセス良好な立地。
- 蘇州市初出店11店舗を含む280店舗で構成。

モールコンセプト

“Over the TOP” 期待を超える感動体験



専門店全体の約40%以上となる120店舗で飲食を展開。



2015年度 アセアン事業 新規モール ※

※オープン年度は日本の会計年度で記載。アセアン各国現地法人の決算期は12月末。

イオンモールBSD CITY（バンテン州タンゲラン県）

オープン日：2015年5月30日
 敷地面積：100,000㎡
 総賃貸面積：77,000㎡
 駐車台数：車 2,100台
 バイク 2,300台
 専門店数：280店舗



モールコンセプト

「For Your Smart Living」

～イオンは、素晴らしいショッピング体験のご提供を通じて、インドネシアの皆さまのスマートライフを応援いたします。～

日本の人気ラーメン店も出店する「ラーメンビレッジ」等、面積ベースで全体の約40%となるBSD地区最大規模の飲食ゾーンを展開し、ワンストップで衣食住すべてが揃うエリア最大級の郊外型ショッピングモール。



イオンモールロンビエン（ハノイ市ロンビエン区）

オープン：2015年10月28日
 敷地面積：96,000㎡
 総賃貸面積：72,000㎡
 駐車台数：車 1,000台
 バイク 10,000台
 専門店数：180店舗



モールコンセプト

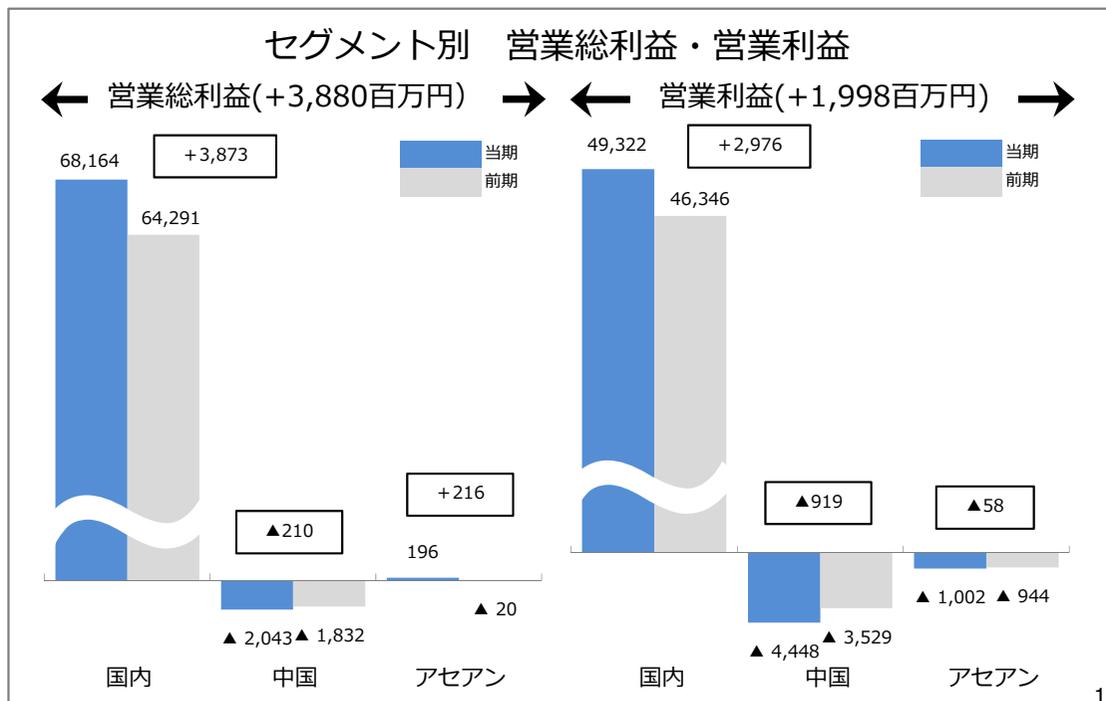
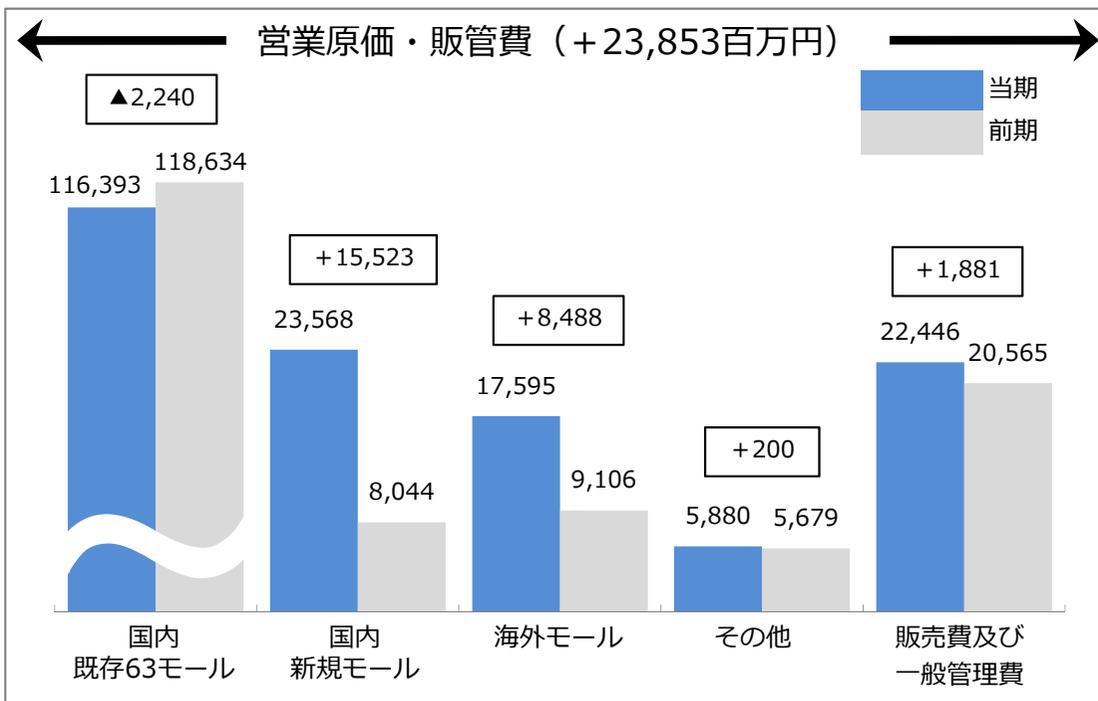
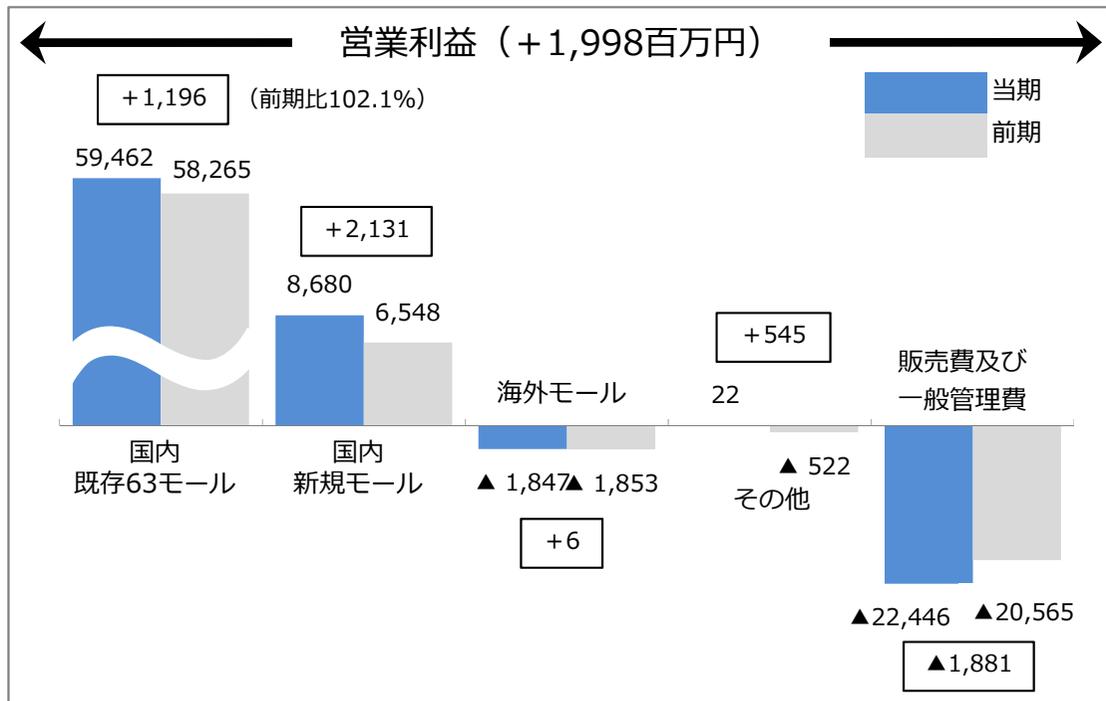
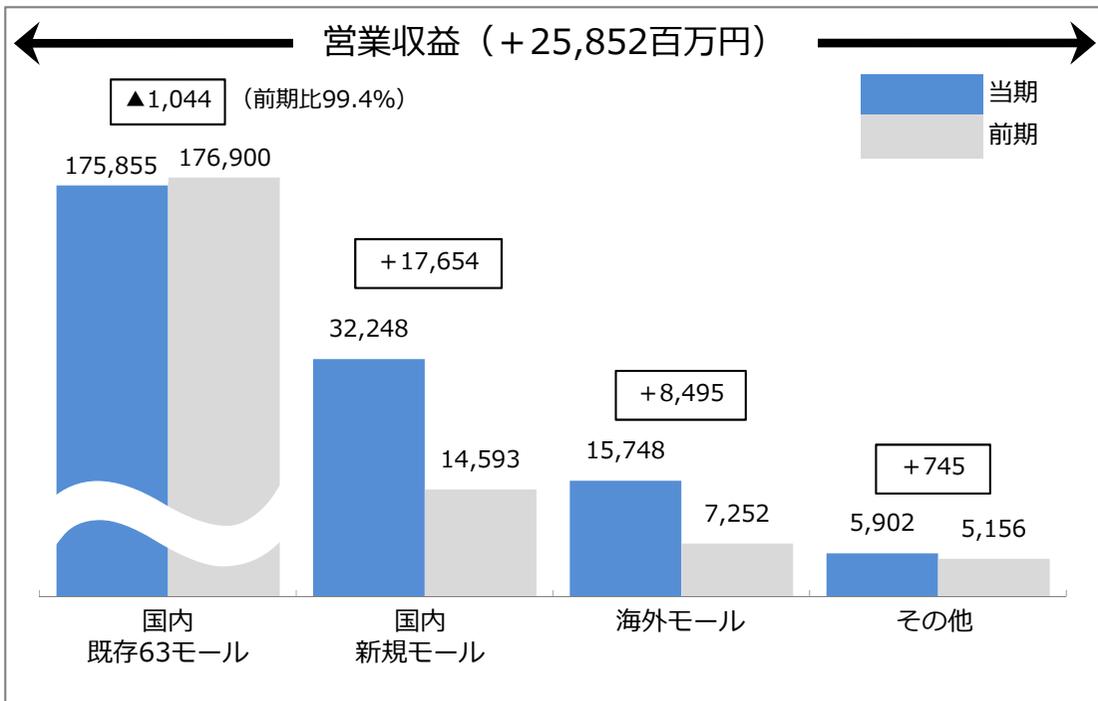
「Japanese Heart, Vietnamese Smile」

日本の心（おもてなし）で、ベトナムの皆さまに微笑みを

新興住宅エリアのロンビエン地区に位置し、国内最大級のシネマコンプレックス、10代の若者向けアミューズメント、キッズ向け室内遊園地等のエンターテインメント機能に加え、18店舗からなるオープンレストランゾーン、ハノイ最大級となる2,000席のフードコートを展開。



2015年度（2016年2月期）（2015.3.1～2016.2.29）損益増減明細



2015年度 (2016年2月期) (2015.3.1~2016.2.29)損益計算書 (要約)

(単位:百万円)

連結 (百万円)	2016年2月期	比率	2015年2月期	比率	増減率	前年増減額	前期比増減要因
営業収益	229,754	100.0%	203,902	100.0%	112.7%	25,852	・国内新規運営11モール +17,654百万円 ・国内既存63モール ▲1,044百万円 ・海外モール +8,495百万円 ・その他 +745百万円
営業原価	163,436	71.1%	141,464	69.4%	115.5%	21,971	・国内新規運営11モール +15,523百万円 ・国内既存63モール ▲2,240百万円 ・海外モール +8,488百万円 ・その他 +200百万円
営業総利益	66,317	28.9%	62,437	30.6%	106.2%	3,880	・国内新規運営11モール +2,131百万円 ・国内既存63モール +1,196百万円 ・海外モール +6百万円 ・その他 +545百万円
販売費及び一般管理費	22,446	9.8%	20,565	10.1%	109.2%	1,881	
営業利益	43,870	19.1%	41,872	20.5%	104.8%	1,998	
営業外収益	2,622	1.2%	2,135	1.1%	122.8%	486	・受取利息 +111百万円 ・テナント受取退店違約金 +284百万円 ・為替差益 ▲333百万円
営業外費用	4,080	1.8%	2,847	1.4%	143.3%	1,232	・支払利息 +255百万円 ・為替ヘッジに伴うデリバティブ評価損 (評価益107百万円、評価損904百万円) +797百万円
経常利益	42,412	18.5%	41,160	20.2%	103.0%	1,252	・営業外損益は前期より746百万円悪化
特別利益	2,302	1.0%	1,812	0.9%	127.1%	490	・固定資産売却益 (当期1,862百万円、前期905百万円) +956百万円 ・[当期] 持分利益 +438百万円 ・[前期] 差入保証金売却益 ▲186百万円 ・[前期] 投資有価証券売却益 ▲707百万円
特別損失	3,677	1.6%	611	0.3%	601.7%	3,066	・固定資産除却損 +861百万円 ・[当期] 閉店引当金 +1,838百万円 (減損損失686、店舗閉鎖損失引当金1,152)
税金等調整前当期純利益	41,037	17.9%	42,361	20.8%	96.9%	▲1,323	・特別損益は前期より2,576百万円悪化
法人税等	16,984	7.4%	18,013	8.9%	94.3%	▲1,028	
少数株主利益	▲586	▲0.2%	▲164	▲0.1%	-	▲421	
当期純利益	24,639	10.7%	24,513	12.0%	100.5%	126	

※国内新規運営11モール(2014年オープン7モール、2015年オープン4モール)

2015年度（2016年2月期）（2015.3.1～2016.2.29）貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

連結（百万円）		2016年2月期	2015年2月期	前期末比 増減額	前期比増減要因
流動資産	現金及び預金	55,375	67,340	▲ 11,965	
	関係会社預け金	-	5,000	▲ 5,000	・イオングループ余資運用
	その他	36,753	31,231	5,522	
流動資産		92,129	103,572	▲ 11,442	
固定資産	有形固定資産	754,716	689,820	64,895	・有形固定資産の取得 +157,001百万円 ・減価償却費 ▲30,655百万円 ・リース会社への物件売却 ▲33,160百万円 ・イオンリート投資法人への物件売却 ▲20,638百万円 他
	無形固定資産	3,677	3,830	▲ 153	
	投資その他の資産	124,447	103,734	20,713	・長期前払費用 +17,137百万円(海外土地使用权等)
	固定資産	882,840	797,385	85,455	
資 産		974,970	900,957	74,012	
流動負債	未払法人税	10,556	9,436	1,119	
	専門店預り金	32,643	47,598	▲ 14,954	・前期末日が銀行休業日の為、返還日ずれの影響(2/28→3/2) ▲18,718百万円 ・新規モール開設等による増加 +3,764百万円
	設備未払金	78,886	95,845	▲ 16,958	
	その他	89,311	56,581	32,730	・短期借入金 +8,339百万円 ・1年内償還予定の社債 +200百万円 ・1年内返済予定の長期借入金 +13,876百万円
流動負債		211,398	209,461	1,936	
固定負債		423,722	358,959	64,763	・社債 +29,800百万円 ・長期借入金 +28,392百万円 ・預り保証金 +4,497百万円
	固定負債	423,722	358,959	64,763	
	負債	635,120	568,421	66,699	
純資産		339,849	332,536	7,313	
自己資本比率		34.2%	36.4%	▲2.2%	

有利子負債	334,406	253,798	80,607
有利子負債比率	34.3%	28.2%	6.1%
デット・エクイティ・レシオ(倍)	1.0	0.8	0.2

【有利子負債増減】

（単位：百万円）

	2016年2月期	2015年2月期	前期末比 増減額
短期借入金	8,339	-	8,339
1年内償還予定の社債	200	-	200
1年内返済予定の長期借入金	38,585	24,709	13,876
社 債	95,000	65,200	29,800
長期借入金	192,281	163,889	28,392
合 計	334,406	253,798	80,607

2015年度（2016年2月期）（2015.3.1～2016.2.29）キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

連結（百万円）	2016年2月期	2015年2月期	前年増減額	2016年2月期の主な増減要因																														
営業活動による キャッシュ・フロー	61,785	76,152	▲ 14,366	<p>●前年同期比▲14,366百万円の主な理由 →専門店の売上預り金が前年同期比▲37,435百万円</p> <table border="1"> <tr> <td>前年同期比増減</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>▲ 37,435</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>当期増減要因</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>▲ 18,718</td> <td>百万円</td> <td>前期末日（2015年2月28日）が銀行休業日の為、返還日ずれの影響(2/28→3/2)</td> </tr> <tr> <td>3,841</td> <td>百万円</td> <td>新規モール開設及び季節指数による増加</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>▲ 14,876</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>前期増減要因</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>18,718</td> <td>百万円</td> <td>前期末日（2015年2月28日）が銀行休業日の為、返還日ずれの影響(2/28→3/2)</td> </tr> <tr> <td>3,840</td> <td>百万円</td> <td>新規モール開設及び季節指数による増加</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>22,559</td> <td>百万円</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 税金等調整前当期純利益 +41,037百万円 減価償却費 +32,088百万円 専門店売上預り金 ▲14,876百万円 法人税等の支払額 ▲17,278百万円 その他 +20,814百万円 	前年同期比増減			合計	▲ 37,435	百万円	当期増減要因			▲ 18,718	百万円	前期末日（2015年2月28日）が銀行休業日の為、返還日ずれの影響(2/28→3/2)	3,841	百万円	新規モール開設及び季節指数による増加	合計	▲ 14,876	百万円	前期増減要因			18,718	百万円	前期末日（2015年2月28日）が銀行休業日の為、返還日ずれの影響(2/28→3/2)	3,840	百万円	新規モール開設及び季節指数による増加	合計	22,559	百万円
前年同期比増減																																		
合計	▲ 37,435	百万円																																
当期増減要因																																		
▲ 18,718	百万円	前期末日（2015年2月28日）が銀行休業日の為、返還日ずれの影響(2/28→3/2)																																
3,841	百万円	新規モール開設及び季節指数による増加																																
合計	▲ 14,876	百万円																																
前期増減要因																																		
18,718	百万円	前期末日（2015年2月28日）が銀行休業日の為、返還日ずれの影響(2/28→3/2)																																
3,840	百万円	新規モール開設及び季節指数による増加																																
合計	22,559	百万円																																
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 146,332	▲ 127,505	▲ 18,827	<ul style="list-style-type: none"> 有形固定資産の取得 ▲194,315百万円 長期前払費用の取得 ▲12,899百万円 <p>（海外土地使用权等） } ※設備投資174,055百万円 （リース活用33,160百万円をNET）</p> <ul style="list-style-type: none"> 有形固定資産売却による収入 +55,442百万円 （REIT・リース活用等） 預り保証金の増加(NET) +4,210百万円 他 																														
財務活動による キャッシュ・フロー	73,446	54,994	18,451	<ul style="list-style-type: none"> 短期借入及びCPの純増 +8,440百万円 長期借入金による収入 +74,679百万円 長期借入金の返済による支出 ▲31,025百万円 社債発行による収入 +30,000百万円 																														
現金及び現金同等物 期末残高	53,652	67,222	▲ 13,569																															

2. 今後の取り組み（2016年度以降）

2016年度の位置づけ

年度： 2011 2012 2013 2014 2015 **2016** 2017 2018 2019 2020

新たな成長に向けての基盤構築

成長軌道へ

国内事業	安定したモール出店	新たなコンセプトに基づくモール出店推進 幅広い年代層		
		収益力強化		
		既存モールの増床・リニューアル		
	イオングループDV事業機能統合	スケールメリットを活かした競争力強化と効率化の推進		
		ローカライゼーションの視点に基づくモール運営 インバウンド対応の拡充・デジタル化の推進 新規フォーマット（都市型ファッションビル事業）の展開		
海外事業	事業基盤整備	事業基盤確立		成長加速
（中国）	開発促進	出店拡大		
（アセアン）	各国での現地法人設立	1号店出店・出店拡大		
財務	成長・競争力強化 事業効率化に寄与する投資の実施			
	多様な資金調達による資産効率改善・株主還元の拡充			
組織・人材	ガバナンス強化・ダイバーシティ推進による多様な人材育成			

2016年度位置づけ

成長戦略に基づき構築した経営基盤を活用し、成長軌道に乗せる年度

国内

- ✓ 新規6モールオープン
- ✓ 収益力強化
 - ①既存モールリニューアル19モール、増床2モール
 - ②モール資産の活用、ローカリゼーションの推進、デジタル化の推進
- ✓ 都市型ファッションビル事業の収益拡充に向けた基盤作り

中国

- ✓ 新規モール 1モール
(手続きの厳格化による建設スケジュールの長期化により5モール→1モール)
- ✓ 着工済み7モールの早期オープンに向けた取り組みの推進
- ✓ 既存モールの管理・運営ノウハウの強化

アセアン

- ✓ 新規モール 1モール (ベトナム)
- ✓ インドネシア、カンボジアでの新規モールオープンに向けた取り組みの推進
- ✓ 開発物件の促進

2016年度 国内新規モール

イオンモール出雲（島根県）



オープン日：2016年5月2日
敷地面積：約 45,000㎡
総賃貸面積：約 32,000㎡
駐車台数：約 2,000台
専門店数：約 90店舗

イオンカテプリ新さっぽろ（北海道）

オープン日：2016年秋
敷地面積：約 27,300㎡
総賃貸面積：約 25,400㎡（地下2階～地上3階）
駐車台数：－
専門店数：－

イオン北海道株式会社が株式会社ダイエーから事業承継し、管理・運営を実施。今回、建物賃借にて当社が管理・運営を行い、大幅なテナント入替えを行う。

ダイエー神戸三宮店（兵庫県）

オープン日：2017年春
敷地面積：約 4,700㎡
総賃貸面積：約 17,600㎡（2階～9階）
駐車台数：－
専門店数：－

株式会社ダイエーが管理・運営する地下2階・地上9階の商業施設。2015年8月に、地下2階から1階を、ダイエーの都市型戦略業態「フードスタイルストア」としてリニューアルオープン。今回、当社が2階から9階を賃借し、リニューアルを実施。

イオンモール長久手（愛知県）



オープン日：2016年12月
敷地面積：約 46,000㎡
総賃貸面積：約 59,000㎡
駐車台数：約 2,900台
専門店数：－

イオンモール堺鉄砲町（大阪府）



オープン日：2016年3月19日
敷地面積：102,000㎡
総賃貸面積：56,000㎡
駐車台数：2,600台
専門店数：160店舗

大阪市との市境付近に位置し、公共交通機関・自動車双方でのアクセスに恵まれた立地。ひと・もの・情報の交流拠点として栄えてきた堺市の魅力を活かしたコミュニティ機能の充実に加え、自動車20分圏に約110万人という肥沃なマーケットのデイリーニーズに対応。



イオンモール今治新都市（愛媛県）



オープン日：2016年4月23日
敷地面積：122,000㎡
総賃貸面積：54,000㎡
駐車台数：2,900台
専門店数：120店舗

新規モール一覧

	モール名称	所在地	オープン	敷地面積	総賃貸面積	駐車台数
2016年度 (計画) [6モール]	イオンモール堺鉄砲町	大阪府堺市	2016年3月19日	102,000 m ²	56,000 m ²	2,600 台
	イオンモール今治新都市	愛媛県今治市	2016年4月23日	約 122,000 m ²	約 54,000 m ²	約 2,900 台
	イオンモール出雲 ※1	島根県出雲市	2016年5月2日	約 45,000 m ² (敷地外駐車場含む)	約 32,000 m ²	約 2,100 台 (敷地外駐車場含む)
	イオンカテプリ新さっぽろ ※2	北海道札幌市	2016年秋	約 27,300 m ²	約 25,400 m ²	未公表
	イオンモール長久手	愛知県長久手市	2016年12月	約 46,000 m ²	約 59,000 m ²	約 2,900 台
	ダイエー神戸三宮店 ※3	兵庫県神戸市	2017年春	約 4,700 m ²	約 17,600 m ²	未公表
2017年度	イオンモール徳島	徳島県徳島市	2017年春	約 49,900 m ²	約 50,000 m ²	約 2,800 台
	(仮称) SENRITOよみうりⅡ期	大阪府豊中市	2017年春	約 12,200 m ²	約 9,100 m ²	未公表
	イオンモール小松	石川県小松市	2017年春	約 128,000 m ²	約 60,000 m ²	約 3,200 台
	(仮称) イオンモール上尾	埼玉県上尾市	2017年春	約 71,800 m ²	未公表	未公表
	(仮称) イオンモール高崎駅前	群馬県高崎市	2017年度	約 7,400 m ²	未公表	未公表
	(仮称) イオンモール東松本	長野県松本市	2017年度	約 62,500 m ²	未公表	未公表
2018年度	(仮称) イオンモール平塚	神奈川県平塚市	2018年度	約 126,000 m ²	未公表	未公表
2019年度	(仮称) イオンモール土岐	岐阜県土岐市	2019年度	約 200,000 m ²	未公表	約 4,800 台

※ リリースしている新規物件のみを記載しています。

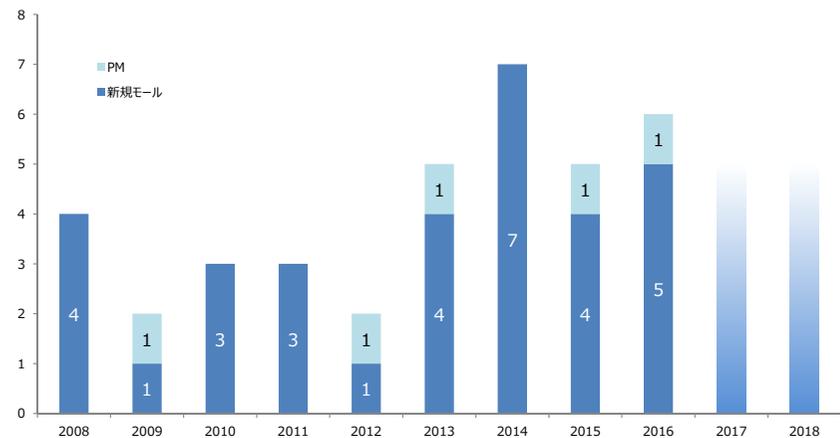
※1 イオンリテール株式会社の新規開設モールをプロパティマネジメント(PM)受託にて管理・運営。

※2 イオン北海道株式会社が運営する既存ショッピングセンターの地下2階～3階を建物賃借し管理・運営。

※3 株式会社ダイエーが運営する既存ショッピングセンターの2階～9階を建物賃借し管理・運営。

2017年度以降は年間 6モール前後の出店を継続。

新規モール開設数推移



活性化：イオンモールのモール年齢10.3年(平均)。活性化によりさらに価値を向上
 ～既存モールの大規模活性化（リニューアル）を推進し、ショッピングモールの魅力・鮮度をアップし、収益力強化を図る～

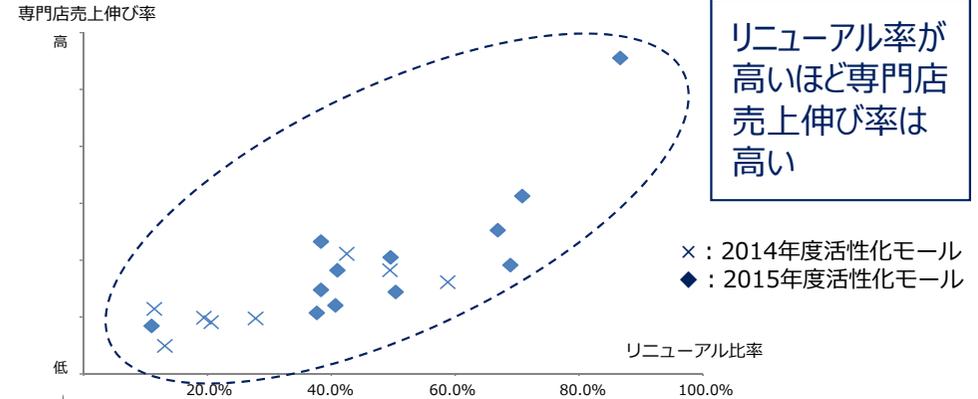
増床を伴わない活性化

- ▶ 小売売上はオープン3年目にピークを迎え、4・5年目は成長が鈍化。専門店との定期建物賃貸借契約[契約期間6年]満了時にリニューアルを実施。
- ▶ 商圏変化に対応した新たなゾーニングプランを策定し、新規専門店導入と既存専門店リニューアルや移転を実施。大半の専門店リニューアルによりモール全体を刷新。
- ▶ 投資金額は3～5億円。投資は増加キャッシュ・フローにより数年で回収。

増床による活性化

- ▶ 増床部分を含めたモール全体のゾーニング見直しとテナントミックス最適化による新店同様の考えによる活性化を実施。
- ▶ 投資金額は規模により異なるが、投資採算基準は投資に対して増加EBITDA13%。

リニューアル率と専門店売上前期比



2016年度 既存モールリニューアル

2014年度 (実績)	2015年度 (実績)	2016年度 (計画)
8モール	12モール ※増床1モール含む	21モール ※増床2モール含む

【ご参考】当社が管理運営する イオンリテール㈱の70モール

2014年度 (実績)	2015年度 (実績)	2016年度 (計画)
17モール	14モール	10モール

イオンモール秋田

2016年4月22日 リニューアルオープン

- ・敷地面積：133,000㎡
- ・総賃貸面積：58,000㎡
- ・駐車台数：3,200台
- ・専門店数：150店舗



高感度ファッションの充実や大型スポーツ店の導入など、秋田県初出店26店舗を含む新規36店舗、移転・改装67店舗と、全体の約70%にあたる103店舗を刷新する大規模リニューアルを実施。



2016年度 増床リニューアル

イオンモール盛岡 2016年3月4日 増床リニューアルオープン



- ・敷地面積：97,000㎡
- ・総賃貸面積：52,000㎡ (+6,000㎡)
- ・駐車台数：2,600台
- ・専門店数：135店舗

これまで立体駐車場として利用していた2F部分(6,000㎡)に、23店舗で構成する増床棟「銀河モール」を新設。既存棟においても、核店舗「イオン盛岡店」の全面リニューアルをはじめ、33店舗を刷新。

イオンモール広島府中 2016年秋 増床リニューアルオープン



- ・敷地面積：126,000㎡
- ・総賃貸面積：97,000㎡ (+17,000㎡)
- ・駐車台数：5,000台 (+700台)
- ・専門店数：280店舗 (+80店舗)

2016年春と夏に実施する既存棟の1期・2期リニューアルに加え、3期に増床棟を新設し、新たに80店舗の専門店を導入。

国内事業 モール収益力強化

①付帯収入の拡大

イベントスペース・イオンホールにおけるイベント開催



モール空間をメディア(広告)媒体として活用



②ローライゼーションの推進

究極のローライズ企画の実施



ローライゼーションを重視したモールごとに個性あるイベントの実施

イオンモール佐久平

ケーキのまち 佐久

「日本三大ケーキのまち」のひとつと呼ばれる佐久市のケーキの魅力を地域で広めるため、地元ケーキ店に協力をいただきモールのセントラルコートで試食会を開催



イオンモール新居浜

そうだ！イオンモールがある！！

～イオンモール新居浜で防災体験～
災害・避難・被災生活の3つの体験を通じて、災害時におけるモールの安全性を地域住民の方々に理解してもらう。



③デジタル化の推進

大型デジタルサイネージの導入



利便性

コミュニティ

デジタルの活用による顧客の囲い込み

ショッピング

エンターテインメント

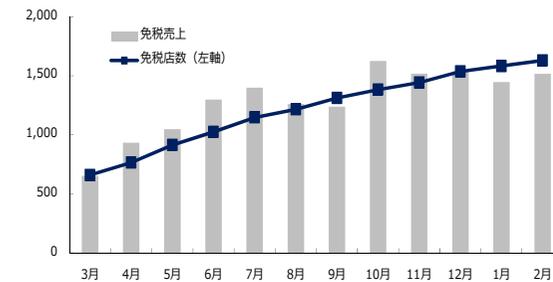


コンシェルジュロボット「Pepper」

④インバウンド対応

免税売上、免税店舗数の推移

2016年2月末時点の免税店舗数は1,629店舗。



インフラ整備状況

項目	対応済モール数	項目	対応済モール数
フリーWi-Fi環境 (無料)	78モール	多言語タッチパネル	8モール
ATM (海外カードでの日本円引き出し可)	144モール (全モール)	祈祷室	5モール
免税対応テナント	1,629店	外貨両替機	5モール
銀聯利用	97モール	一括免税カウンター	5モール
販促物 (指さしツール、Made in Japan POP等)	144モール (全モール)	おもてなしガイド (実証実験)	2モール
		電話通訳サービス	32モール

2016年3月1日に子会社化した(株)OPAが展開するファッションビル事業の収益拡充

ファッションビル事業を展開する株式会社OPAは、2016年3月1日付で、同事業を営むイオンリテール株式会社のビブレフォーラス事業を統合し、新生OPA(同日付で当社100%子会社化)として、新たなスタートをきりました。

<店舗一覧>

・OPA

大宮オーパ・聖蹟桜ヶ丘オーパ・新百合ヶ丘オーパ
 藤沢オーパ・河原町オーパ・梅田オーパ・心斎橋オーパ
 三宮オーパ・キャナルシティオーパ

・ビブレ

横浜ビブレ・ワールドポーターズビブレ
 名古屋ワンダーシティビブレ・北大路ビブレ・三宮ビブレ
 明石ビブレ・天神ビブレ・ビブレジーンレイクタウン

・フォーラス

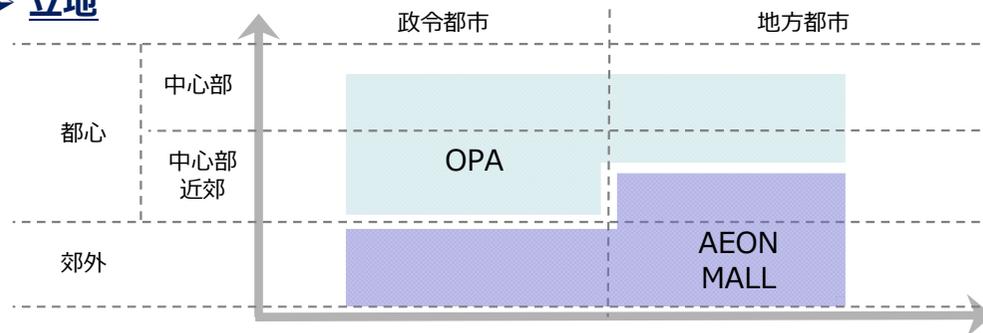
秋田フォーラス・仙台フォーラス・金沢フォーラス
 大分フォーラス



ファッションビルビジネスとモールビジネスとのノウハウ融合

補完関係	イオンモール(株)：主に郊外立地にてショッピングモールを展開
	(株)OPA：都心立地にてファッションビルを管理・運営

> 立地



シナジー効果

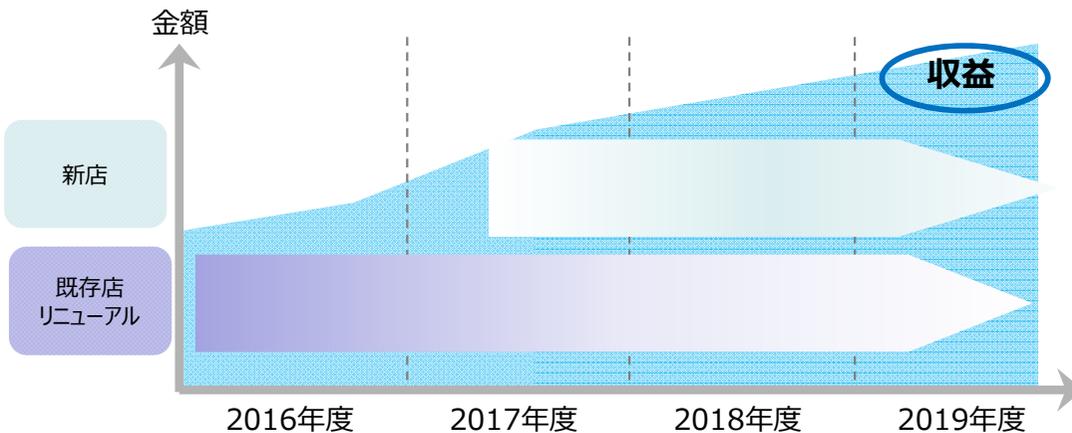
① 開発面

従来の郊外立地に加え、都市型フォーマット展開により新たな成長機会を獲得。

② リーシング面

両社間の非重複取引先の共有(当社として約300社)により、リーシングバリエーションが向上。

<収益改善イメージ>





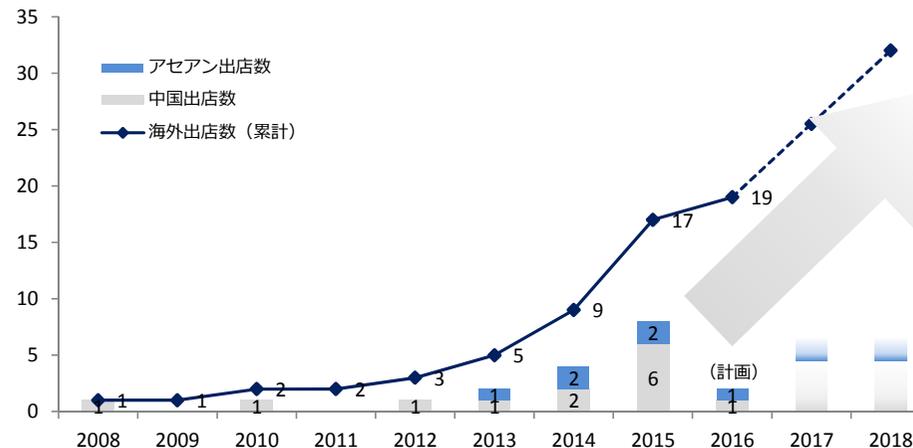
イオンモール武漢金銀潭
(2014年12月オープン)

イオンモール プノンペン
(2014年6月オープン)



アジア各国において、大規模駐車場を備えたショッピングモールを開設。オープン後、週末には駐車場が足りない位の集客があり、今後の成長が期待できます。

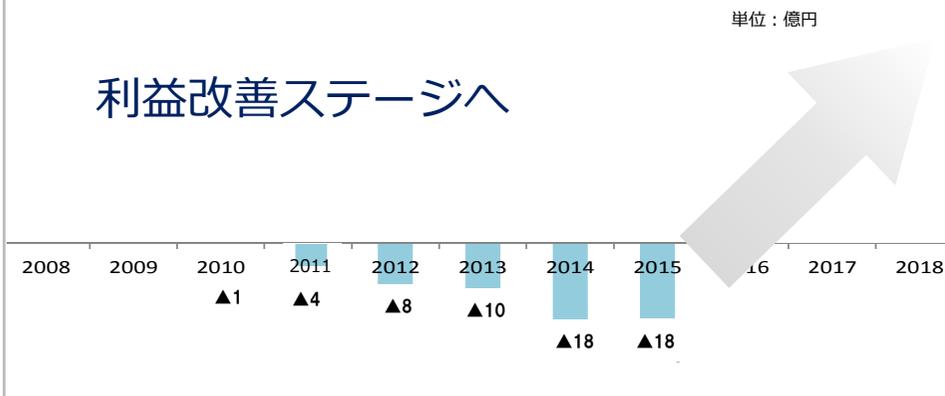
海外出店数の推移



**2015年度末にて17モール体制。
引続き各エリアで出店を加速。**

海外店舗ベース利益 (営業総利益※) の推移

※本部コスト (販管費) を除く営業ベースでの利益



利益改善ステージへ

**2016年度は17モール中、
10モールで黒字化を見込む。**

【出店状況】



- 北京・天津エリア**
- ・イオンモール北京国際商城
 - ・イオンモール天津TEDA
 - ・イオンモール天津中北
 - ・イオンモール天津梅江
 - ・イオンモール北京豊台
 - ・イオンモール河北燕郊
 - ・イオンモール天津津南

- 江蘇・浙江エリア**
- ・イオンモール蘇州吳中
 - ・イオンモール蘇州園区湖東
 - ・イオンモール杭州良渚新城
 - ・イオンモール蘇州新区

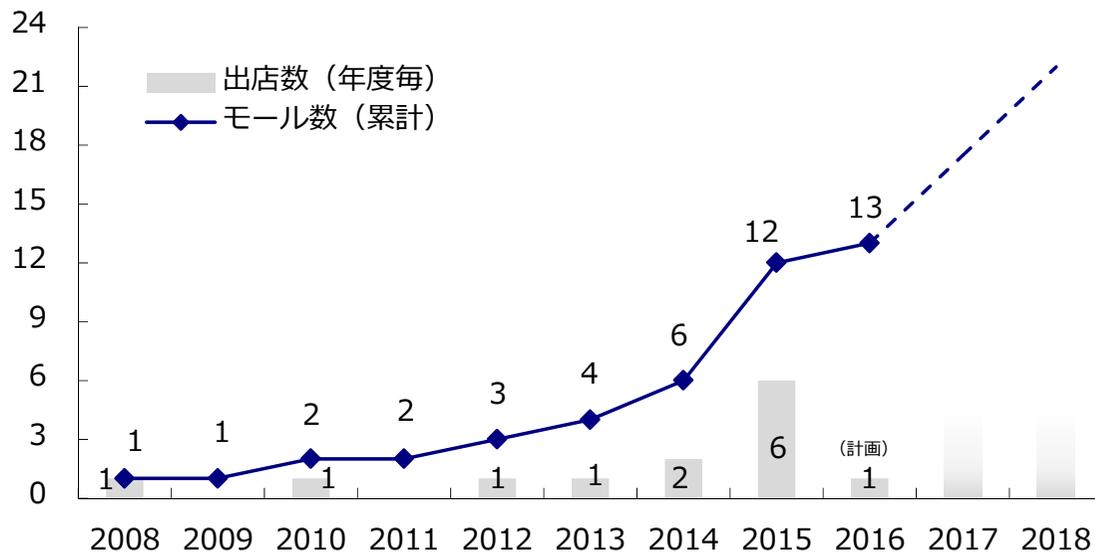
- 湖北エリア**
- ・イオンモール武漢金銀潭
 - ・イオンモール武漢経開
 - ・(仮称)イオンモール武漢石橋

- 広東エリア**
- ・イオンモール広州番禺広場
 - ・(仮称)イオンモール広州金沙洲
 - ・イオンモール佛山大瀝

※赤文字はオープン予定の店舗



中国出店数推移



- ・ 2016年度は、大型商業施設のオープンに向けた手続きの厳格化による建設工期の長期化により、5モール→1モールに変更。
- ・ 既に7モールの建築着工をしており、引き続き出店を拡大。

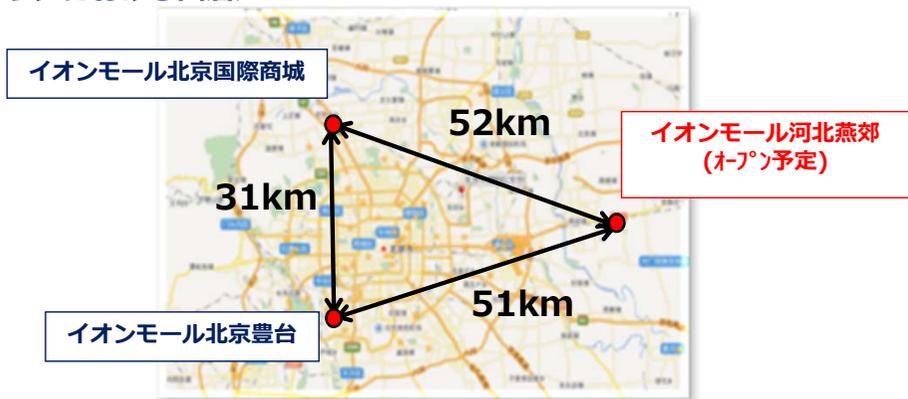
2015年度以降の新規モール

オープン	モール名称	所在地	敷地面積	延床面積
2016年度	イオンモール河北燕郊	河北省三河市	約 84,000 m ²	約 175,000 m ²
2017年度	(仮称) イオンモール武漢石橋	湖北省武漢市	約 46,200 m ²	約 120,900 m ²
	イオンモール佛山大瀝	広東省佛山市	約 83,200 m ²	約 181,600 m ²
	イオンモール天津津南	天津市津南区	約 91,000 m ²	約 145,000 m ²
2018年度	(仮称) イオンモール広州金沙洲	広東省広州市	約 84,500 m ²	約 187,700 m ²

※ リリースしている新規物件のみを記載しています。
 ※ 出店計画は日本の会計年度で記載。中国現地法人の決算期は12月末。

北京・天津エリア

<北京エリアにおける出店>



<天津エリアにおける出店>



	オープン日	敷地面積	総賃貸面積	駐車台数	専門店数
イオンモール北京国際商城	2008年11月7日	89,000㎡	53,000㎡	3,000台	120店舗
イオンモール北京豊台	2015年9月19日	63,800㎡	58,000㎡	2,000台	180店舗
イオンモール河北燕郊	2016年度	約84,000㎡	未公表	約2,800台	未公表

	オープン日	敷地面積	総賃貸面積	駐車台数	専門店数
イオンモール天津TEDA	2010年10月29日	98,000㎡	55,000㎡	2,500台	130店舗
イオンモール天津中北	2012年4月28日	89,000㎡	62,000㎡	3,700台	150店舗
イオンモール天津梅江	2014年1月3日	75,300㎡	63,000㎡	2,400台	170店舗
イオンモール天津津南	2017年度	約91,000㎡	約77,000㎡	未公表	約230店舗

江蘇省・浙江省エリア



<江蘇省蘇州市における出店>

	オープン日	敷地面積	総賃貸面積	駐車台数	専門店数
イオンモール蘇州吳中	2014年4月25日	114,000㎡	75,000㎡	3,100台	190店舗
イオンモール蘇州園区湖東	2015年5月29日	99,300㎡	75,000㎡	3,000台	220店舗
イオンモール蘇州新区	2016年1月15日	139,000㎡	74,000㎡	3,200台	280店舗

<浙江省杭州市における出店>

	オープン日	敷地面積	総賃貸面積	駐車台数	専門店数
イオンモール杭州良渚新城	2015年11月27日	98,000㎡	66,000㎡	2,500台	180店舗

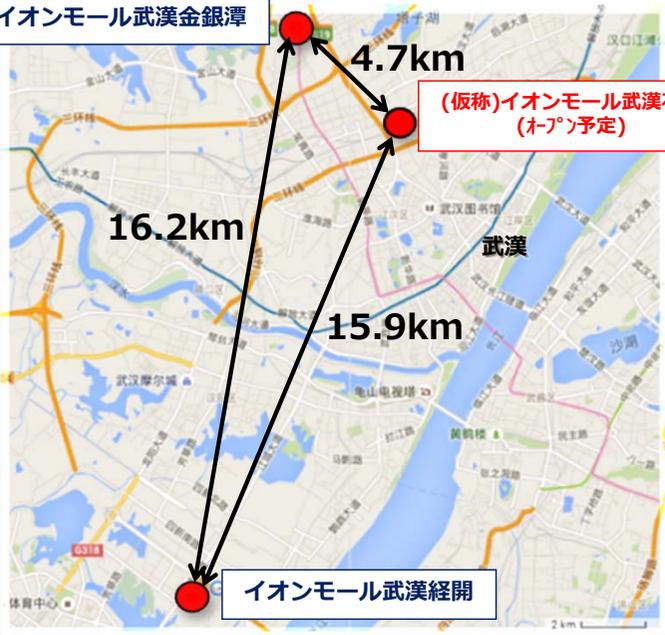
イオンモール蘇州新区



外資企業の誘致に力を入れ、既に500社を超える日本企業が進出する等、蘇州市経済を牽引するエリアである蘇州市高新技术開発区に出店。

湖北省エリア

イオンモール武漢金銀潭



(仮称)イオンモール武漢石橋
(オープン予定)

イオンモール武漢経開

イオンモール武漢経開



武漢市南西部で都市開発が進む「経済技術開発区」において、総賃貸面積10万㎡を超える中国におけるフラッグシップモール。

	オープン日	敷地面積	総賃貸面積	駐車台数	専門店数
イオンモール武漢金銀潭	2014年12月19日	88,000㎡	74,000㎡	2,900台	200店舗
イオンモール武漢経開	2015年12月10日	130,000㎡	105,000㎡	4,000台	300店舗
(仮称)イオンモール武漢石橋	2017年度	約46,200㎡	未公表	約1,900台	未公表

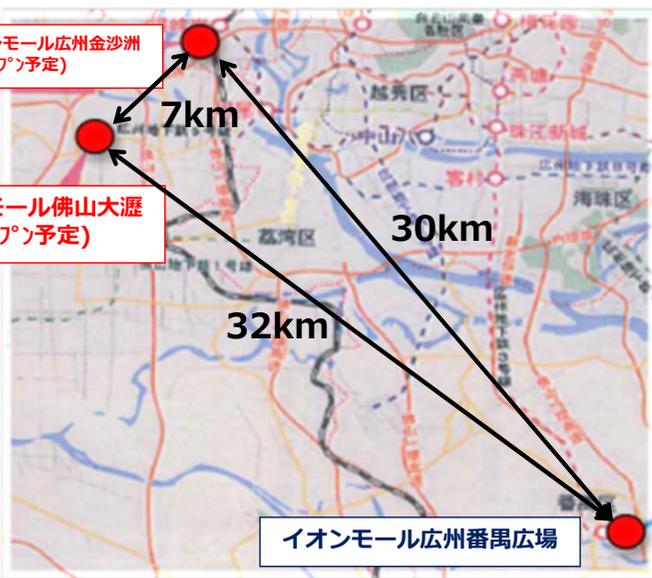
(仮称)イオンモール武漢石橋



武漢市の商業中心である漢口北部に位置し、周辺は高層住宅が多数建設中であり、漢口エリア中心部のベッドタウンとして成長が見込まれるエリア

広東省エリア

(仮称)イオンモール広州金沙洲
(オープン予定)



イオンモール佛山大瀝
(オープン予定)

イオンモール広州番禺広場

イオンモール広州番禺広場



広州市中心部から南へ約20km、約170万人の人口を有する番禺区に出店するもので、エリア最先端のトレンドを発信する都市型モール。

	オープン日	敷地面積	総賃貸面積	駐車台数	専門店数
イオンモール広州番禺広場	2015年12月31日	51,400㎡	64,500㎡	1,700台	170店舗
イオンモール佛山大瀝	2017年度	約83,200㎡	未公表	約3,200台	未公表
(仮称)イオンモール広州金沙洲	2018年度	約84,500㎡	未公表	約3,600台	未公表

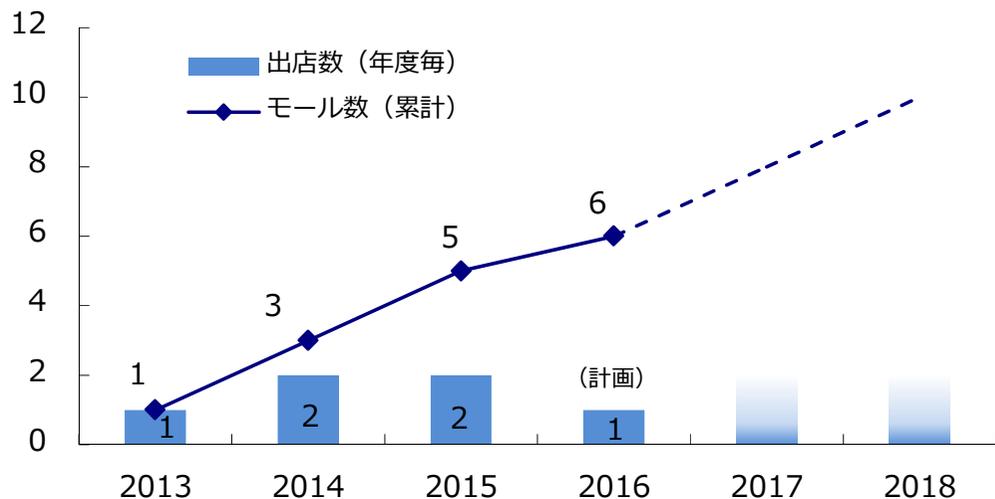
イオンモール佛山大瀝



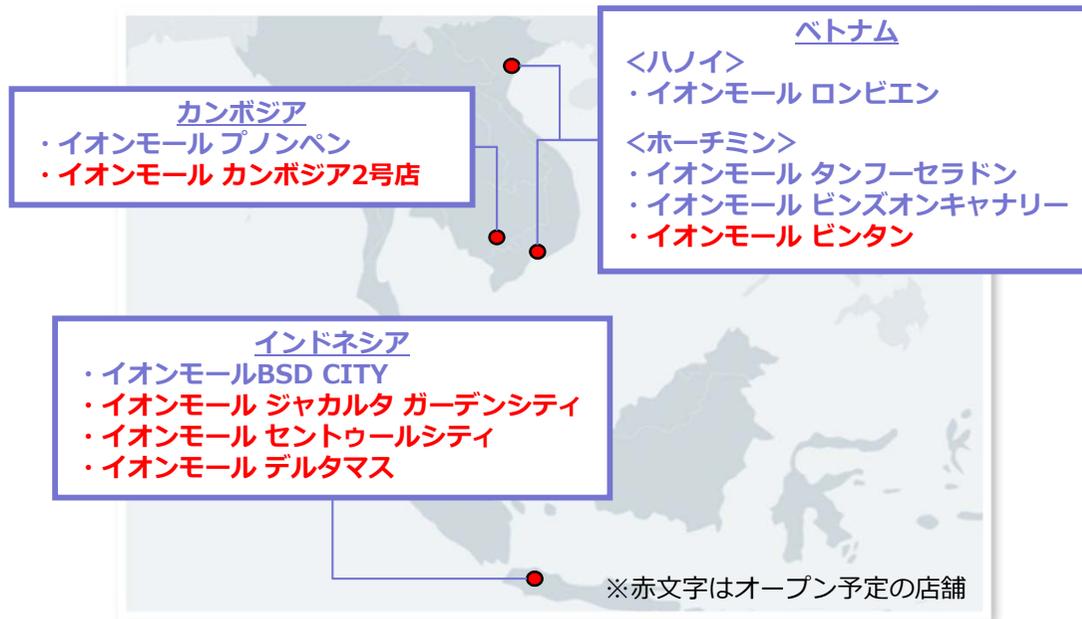
(仮称)イオンモール広州金沙洲



アセアン出店数推移

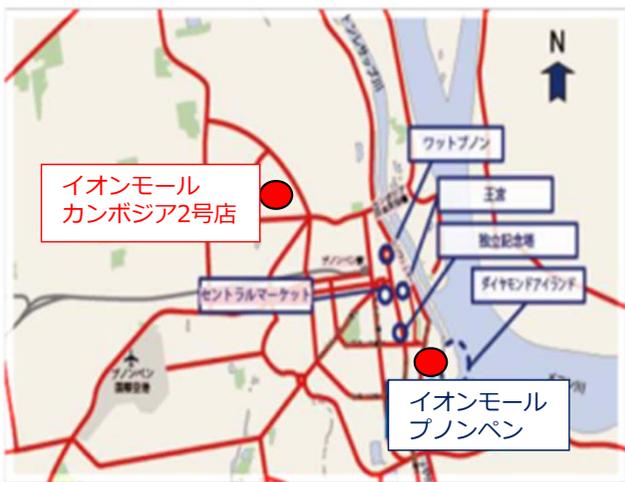


2017年度以降、ベトナム・カンボジア・インドネシアの3ヶ国を中心に出店を促進。



カンボジア

<カンボジアでの出店計画>



イオンモール プノンペン



オープンから1年の来店客数が1,500万人を突破

立体駐車場800台を増設

イオンモール カンボジア2号店



プノンペン中心部から北部約10kmに位置。計画地周辺は住宅開発が進んでおり、近隣だけでなくプノンペン中心部からのアクセスも良好な立地。

	オープン日	敷地面積	総賃貸面積	駐車台数	専門店舗数
イオンモール プノンペン	2014年6月30日	68,000㎡	66,000㎡	車 2,200台 バイク 1,600台	190店舗
イオンモール カンボジア2号店	2018年夏	約100,000㎡	約70,500㎡	車 約2,500台 バイク 約2,000台	未公表

ベトナム

<ハノイエリア>



イオンモール ロンビエン (ハノイ市ロンビエン区)



オープン日	2015年10月28日
敷地面積	96,000㎡
総賃貸面積	72,000㎡
駐車台数	車 1,000台 バイク 10,000台
専門店数	180店舗

<ホーチミンエリア>



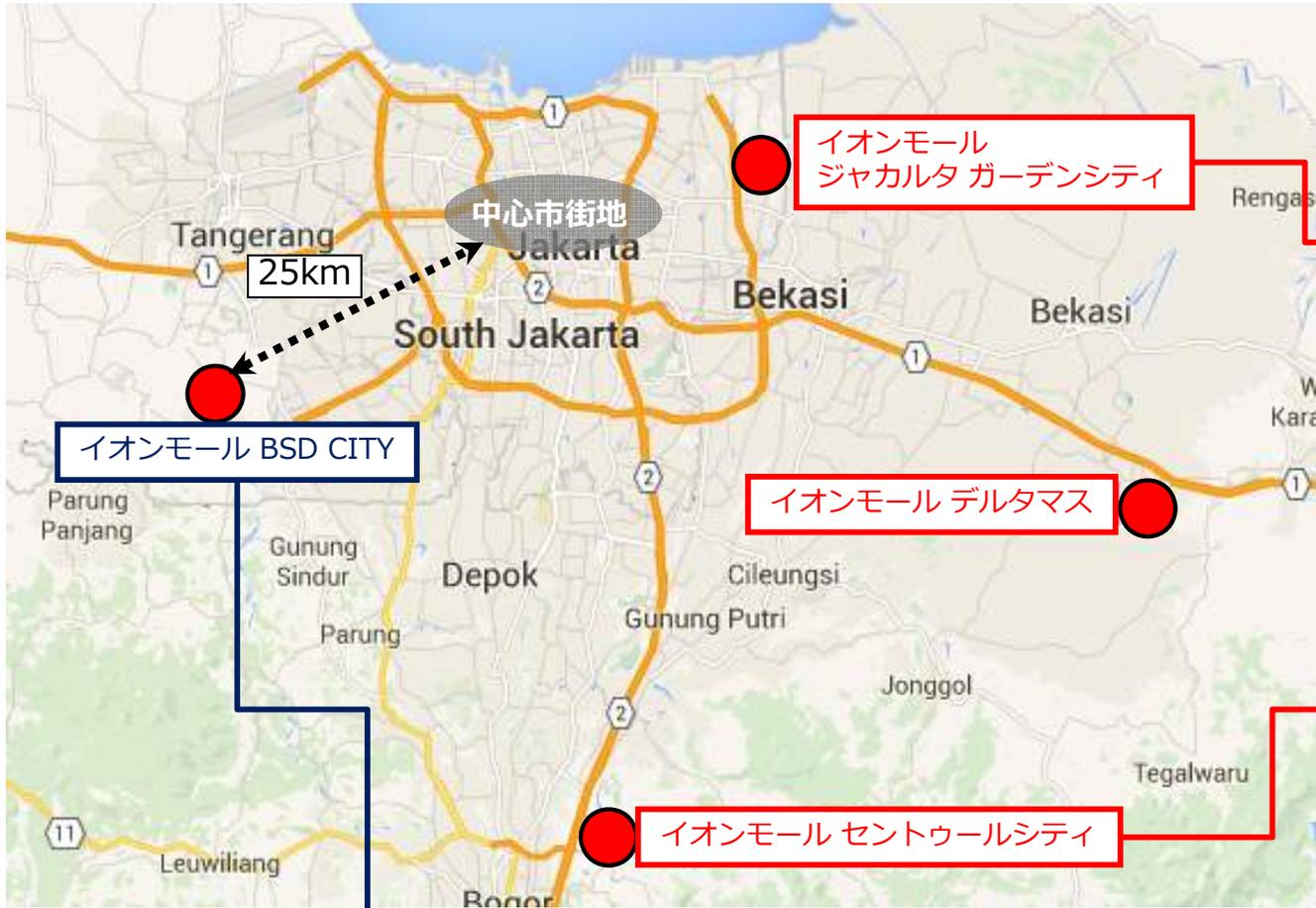
イオンモール ビンタン (ホーチミン市ビンタン区)



計画地は、ホーチミン市中心地から南西約10kmのビンタン区に位置し、ホアラム-シャングリラ社が総合開発する「インターナショナル ハイテク ヘルスケア パーク」内に立地。今後交通環境整備も進み、広域集客が可能な立地。

	オープン日	敷地面積	総賃貸面積	駐車台数	専門店数
イオンモール タンフーセラドン	2014年1月11日	35,120㎡	50,000㎡	車 500台 バイク 4,000台	120店舗
イオンモール ビンズオンカナリー	2014年11月1日	62,000㎡	46,000㎡	車 1,000台 バイク 6,000台	150店舗
イオンモール ビンタン	2016年夏	約46,800㎡	約59,000㎡	車 約 1,500台 バイク 約 4,000台	約160店舗

インドネシア



イオンモール ジャカルタ ガーデンシティ



イオンモール セントウルシティ



イオンモールBSD CITY

モール名	オープン	敷地面積	総賃貸面積	駐車台数	専門店数
イオンモール B S D CITY	2015年5月30日	100,000㎡	77,000㎡	車 2,100台 バイク 2,300台	280店舗
イオンモール ジャカルタ ガーデンシティ	2017年度	約85,000㎡	約60,000㎡	未公表	未公表
イオンモール セントウルシティ	2018年度	約78,000㎡	約71,000㎡	3,000台	250店舗
イオンモール デルタマス	2018年度	約200,000㎡	未公表	未公表	未公表

2016年度（2017年2月期）業績予想

	金額	前期比
営業収益	2,800 億円	121.9 %
営業利益	465 億円	106.0 %
経常利益	450 億円	106.1 %
当期純利益	270 億円	109.6 %
1株当たり当期純利益	119.94 円	-

設備投資額	1,500 億円
減価償却費	400 億円

利益配分

<基本方針>

- ・株主の皆さまへの安定的な配当継続を重視
- ・内部留保金は事業基盤強化のための成長事業、新規事業、経営体質強化のために投資
- ・配当性向は年間20%以上

2016年度は、1株につき5円増配の27円を予定

年 度	1株当たり配当金			配当性向
	中間	期末	年間	
2014	11.00 円	11.00 円	22.00 円	20.4 %
2015	11.00 円	11.00 円	22.00 円	20.3 %
2016	13.50 円	13.50 円	27.00 円	22.7 %

本資料に記載されている内容及び業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。